

日墨研修レポート 3月

加藤 梨乃

* チェチェンイツァ *

メキシコ、
ユカタン
半島にあ
るマヤ文
明が築



いたとされる古代都市遺跡、チェチェンイツァ。この遺跡に年に2度、秋分と春分の日だけに神秘的現象が現れます。太陽が西に傾くと、階段の側壁にピラミッドの影が上の写真のように蛇の胴体となって浮かび上がり、巨大な蛇が姿を現します。これをククルカンの降臨と言います。このことから、チェチェンイツァは暦のピラミッドとも呼ばれ、ピラミッド自体がカレンダーのような働きをしているのです。秋分の日と春分の日ククルカンの降臨の現象が起こるようにチェチェンイツァを建設したマヤ文明には大変驚きです。これは当時の驚異的な天文学の発達を示すものと言えるでしょう。メキシコはラテンアメリカの中でも遺跡の数が大変多いと言われていたのですが、このチェチェンイツァはその中でも大変有名で、メキシコに来たら訪れたい遺跡の一つと言えます。

メキシコに春が訪れました。

3月に入り気温が一気に上がり、日中は半袖で過ごすことが多くなりました。そして春に満開になるハカランダという木も、私たちに春の訪れを知らせてくれます。ハカ



ランダという紫色の花を咲かせる木は「メキシコの桜」と言われており、現在メキシコシティ全体がこのハカランダで紫色に彩られ、道に紫の絨毯を作ります。スペイン語にはこのハカランダが由来の jacarandoso という形容詞が存在するそうです。これは楽しい、幸せな、生き生きとしたというような意味を持ち、まさにこの花そのものを表現しています。

メキシコで新しく始めたこと。

3月に入り、UNAMの中にあるジムに通い始めました。恥ずかしながらメキシコに来て半年が経ち、美味しいメキシコ料理の食べ過ぎで10キロも太ってしまいました(笑)もし日本にいたら、ダイエットとして一日一食しか食べない、もしくは炭酸化物抜きダイエットなどに取り組んでいたでしょう。ただメキシコはアメリカとまでは言わないものの、日本よりはるかに fitness 社会が根付いています。日本では高く始められない、ジムって男性が行くところ、何だか行きにくい…そんな壁がメキシコに来て払拭できました。UNAMのジムは半年間でトレーナー付きで700ペソ(現在のレートで3500円から4000円)と大変安いです。私は利用していませんが、日墨研修生の中にはUNAMのプールを利用している人もいます。プールの利用は無料だったと思います。この半年間、部屋で缶詰め状態で勉強していた日も

多く全く運動をしていなかったため、授業後に体を動かせる環境ができて大変嬉しいです。筋トレを始めてから食事管理もしっかりするようになり、勉強もはかどるようになった気がします。3月上旬から始まったセメスターからは、9時から12時までの語学学校の授業を取り、その後伝統ダンスの授業を2つ、その後ジム、日によってはUNAMの授業に足を運ぶといった感じです。渡航から半年が経ち、語学力にも自信がついてきたため、残りのメキシコ生活は様々なことに積極的に取り組む留学にしたいと思います。